

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 リケン

コード番号 6462 URL <http://www.riken.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 岡野 教忠

問合せ先責任者 (役職名) 管理部経理室長

(氏名) 中島 正郎

TEL 03-3230-3911

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|---|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第2四半期 | 29,689 | △37.4 | △139 | — | 943 | △70.5 | 645 | △63.2 |
| 21年3月期第2四半期 | 47,390 | — | 2,663 | — | 3,198 | — | 1,753 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | 6.43 | — |
| 21年3月期第2四半期 | 17.20 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | 78,442 | 43,260 | 52.7 | 411.98 |
| 21年3月期 | 76,793 | 41,803 | 52.3 | 400.53 |

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 41,320百万円 21年3月期 40,175百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 5.00 | — | 3.00 | 8.00 |
| 22年3月期 | — | 3.00 | — | — | — |
| 22年3月期(予想) | — | — | — | 3.00 | 6.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 63,000 | △22.1 | 1,500 | 511.6 | 2,800 | 480.2 | 1,600 | — | 15.95 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 106,484,667株 21年3月期 106,484,667株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 6,187,324株 21年3月期 6,179,050株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 100,300,285株 21年3月期第2四半期 101,964,629株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

昨年後半以降の急速な経済悪化は、今年の1～3月期を底として4月以降はやや持ち直しの兆しが見られましたが、内需・輸出とも回復力は弱く、当第2四半期累計期間の経済環境は依然として厳しい状況が続いております。

自動車業界におきましては、わが国のエコカー減税をはじめ各国の自動車関連の政策減税により今年度前半の販売は1～3月期対比では上向いていますが、前年同期に比べると大幅な減少となっており、また、期間限定政策のため先行きは不透明な状況にあります。国内の建築・住宅産業も、厳しい状況が継続しています。

このような環境のもと、当社グループでは人件費を含む諸経費の削減を強力に推進し、投資の縮減等も含んだコスト構造改革を実行し収益改善を図ってまいりましたが、売上減少に伴う限界利益の減少をカバーしきれず、当第2四半期連結累計期間売上高は29,689百万円（前年同期比37.4%減）、営業損失は139百万円（前年同期比－%）、経常利益は943百万円（前年同期比70.5%減）、四半期純利益は645百万円（前年同期比63.2%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①自動車・産業機械部品事業

自動車・産業機械部品事業では、自動車減産による受注減少の影響を受け、売上高は24,853百万円（前年同期比38.7%減）、営業損失は717百万円（前年同期比－%）となりました。

②その他事業

その他事業では、売上高は5,867百万円（前年同期比21.1%減）、営業利益は440百万円（前年同期比61.8%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

日本においては、自動車減産による受注減少の影響を受け、売上高は25,692百万円（前年同期比37.3%減）、営業損失は872百万円（前年同期比－%）となりました。

②その他の地域

インド・中国・インドネシア等アジア諸国は回復基調にありますが、欧米先進国地域の自動車減産による大幅な受注減少が響き、売上高は6,122百万円（前年同期比45.3%減）、営業利益は565百万円（前年同期比48.2%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、78,442百万円（前連結会計年度比1,648百万円の増加）となりました。これは主に、現預金が増加したことによるものです。

負債は、35,181百万円（前連結会計年度比191百万円の増加）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少した一方で、短期借入金が増加したことによるものです。

純資産は、43,260百万円（前連結会計年度比1,456百万円の増加）となりました。これは、利益剰余金の増

加及び為替レート変動の影響により為替換算調整勘定が増加したことが主な要因であります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は52.7%となり、前連結会計年度末の52.3%から0.4%上昇しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、6,997百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロー状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加及び仕入債務の減少等の資金減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益に加え法人税等の還付額があったこと等により2,005百万円の増加となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは2,298百万円の減少となり、前第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローの減少3,547百万円から大幅な減額となりました。これは有形固定資産取得による支出を前第2四半期連結累計期間の4,182百万円から2,220百万円にほぼ半減したことによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払があった一方、借入れによる収入があったこと等により、1,282百万円の増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

コスト構造改革の推進とアジア地域の関係会社の業績向上等により、当第2四半期連結累計期間の収益が当初予想に比べ改善している状況を踏まえ、平成21年5月13日に公表した通期の連結業績予想を下記のとおり変更いたします。

| | | |
|-------|-----------|-------------|
| 売上高 | 63,000百万円 | (63,000百万円) |
| 営業利益 | 1,500百万円 | (200百万円) |
| 経常利益 | 2,800百万円 | (800百万円) |
| 当期純利益 | 1,600百万円 | (500百万円) |

※（ ）内は5月13日に公表した通期連結業績予想であります。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計処理に関する事項の変更

（外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準の変更）

従来、在外子会社等の収益及び費用について当該子会社等の決算期末日の為替相場により換算しておりましたが、在外子会社等の業績をより正確に連結財務諸表に反映させ、かつ為替相場の短期的な変動によって、四半期決算と年度決算の整合性が損なわれるリスクを回避するため、第1四半期連結会計期間より期中平均相場による換算方法に変更しております。

これにより四半期連結財務諸表及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

② 追加情報

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,998 | 5,709 |
| 受取手形及び売掛金 | 15,925 | 15,810 |
| 商品及び製品 | 4,389 | 3,587 |
| 仕掛品 | 3,330 | 3,274 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,462 | 1,818 |
| 繰延税金資産 | 622 | 688 |
| その他 | 1,033 | 1,828 |
| 貸倒引当金 | △12 | △20 |
| 流動資産合計 | 33,749 | 32,696 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 9,193 | 8,971 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 14,509 | 14,705 |
| 土地 | 2,559 | 2,531 |
| 建設仮勘定 | 1,318 | 1,795 |
| その他（純額） | 1,029 | 1,179 |
| 有形固定資産合計 | 28,610 | 29,183 |
| 無形固定資産 | 384 | 407 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,040 | 6,722 |
| 長期貸付金 | 194 | 94 |
| 繰延税金資産 | 4,760 | 4,487 |
| 前払年金費用 | 2,720 | 2,184 |
| 保険積立金 | 519 | 518 |
| その他 | 552 | 577 |
| 貸倒引当金 | △89 | △77 |
| 投資その他の資産合計 | 15,697 | 14,506 |
| 固定資産合計 | 44,692 | 44,096 |
| 資産合計 | 78,442 | 76,793 |

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,263 | 10,430 |
| 短期借入金 | 8,678 | 6,805 |
| 未払法人税等 | 372 | 331 |
| 賞与引当金 | 1,503 | 1,632 |
| その他 | 4,387 | 4,588 |
| 流動負債合計 | 24,206 | 23,788 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 9,387 | 9,592 |
| 繰延税金負債 | 2 | 6 |
| 退職給付引当金 | 1,049 | 997 |
| 役員退職慰労引当金 | 385 | 399 |
| 負ののれん | 0 | 0 |
| その他 | 150 | 205 |
| 固定負債合計 | 10,975 | 11,201 |
| 負債合計 | 35,181 | 34,989 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,573 | 8,573 |
| 資本剰余金 | 6,604 | 6,604 |
| 利益剰余金 | 31,848 | 31,503 |
| 自己株式 | △2,899 | △2,897 |
| 株主資本合計 | 44,126 | 43,784 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7 | △14 |
| 為替換算調整勘定 | △2,814 | △3,594 |
| 評価・換算差額等合計 | △2,806 | △3,608 |
| 新株予約権 | 39 | 35 |
| 少数株主持分 | 1,901 | 1,592 |
| 純資産合計 | 43,260 | 41,803 |
| 負債純資産合計 | 78,442 | 76,793 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
|---------------|---|---|
| 売上高 | 47,390 | 29,689 |
| 売上原価 | 38,834 | 24,861 |
| 売上総利益 | 8,556 | 4,827 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,893 | 4,967 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 2,663 | △139 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 87 | 38 |
| 持分法による投資利益 | 607 | 432 |
| 生命保険配当金 | 28 | 27 |
| 受取ロイヤリティー | 162 | 107 |
| 為替差益 | — | 89 |
| 助成金収入 | — | 393 |
| その他 | 131 | 294 |
| 営業外収益合計 | 1,017 | 1,384 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 127 | 132 |
| たな卸資産除却損 | 87 | — |
| 固定資産処分損 | 53 | 7 |
| 為替差損 | 32 | — |
| その他 | 181 | 161 |
| 営業外費用合計 | 482 | 301 |
| 経常利益 | 3,198 | 943 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 5 | 7 |
| 投資有価証券売却益 | 57 | 0 |
| 貸倒引当金戻入額 | 3 | 12 |
| 補助金収入 | 1 | — |
| その他 | 0 | — |
| 特別利益合計 | 68 | 19 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 73 | 26 |
| 投資有価証券評価損 | 0 | 1 |
| 減損損失 | 0 | 2 |
| 役員退職慰労金 | 6 | — |
| その他 | — | 0 |
| 特別損失合計 | 80 | 31 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,185 | 931 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,024 | 347 |
| 法人税等還付税額 | — | △77 |
| 法人税等調整額 | 152 | △209 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
|--------|---|---|
| 法人税等合計 | 1,176 | 59 |
| 少数株主利益 | 255 | 226 |
| 四半期純利益 | 1,753 | 645 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,185 | 931 |
| 減価償却費 | 2,955 | 2,391 |
| 減損損失 | 0 | 2 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △607 | △432 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △16 | 31 |
| 前払年金費用の増減額(△は増加) | △636 | △535 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 42 | △14 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △20 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 4 | 2 |
| 受取利息及び受取配当金 | △87 | △38 |
| 支払利息 | 127 | 132 |
| 為替差損益(△は益) | 9 | △77 |
| 負ののれん償却額 | △0 | △0 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 0 | 1 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △57 | △0 |
| 固定資産除却損 | 73 | 26 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △5 | △7 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 285 | 66 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △1,411 | △344 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 149 | △1,339 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 70 | 115 |
| その他 | 453 | 251 |
| 小計 | 4,516 | 1,166 |
| 利息及び配当金の受取額 | 660 | 559 |
| 利息の支払額 | △134 | △132 |
| 災害損失の支払額 | △11 | — |
| 法人税等の還付額 | — | 748 |
| 法人税等の支払額 | △734 | △336 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,296 | 2,005 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,182 | △2,220 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 16 | 14 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △42 | △6 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △0 | △19 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 70 | 0 |
| 貸付けによる支出 | — | △95 |
| 貸付金の回収による収入 | 0 | 0 |
| その他の支出 | △114 | △5 |
| その他の収入 | 705 | 34 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,547 | △2,298 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 8,879 | 9,552 |
| 短期借入金の返済による支出 | △3,320 | △7,677 |
| 長期借入金の返済による支出 | △4,251 | △206 |
| リース債務の返済による支出 | △1 | △49 |
| 自己株式の取得による支出 | △1,857 | △2 |
| 配当金の支払額 | △732 | △303 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △24 | △32 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,307 | 1,282 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △276 | 298 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △834 | 1,288 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,645 | 5,709 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 142 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 6,953 | 6,997 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

| | 自動車・産業 機械部品事業 (百万円) | その他事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|--------------------------|---------------------------|----------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 40,533 | 6,857 | 47,390 | — | 47,390 |
| (2)セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 0 | 576 | 577 | (577) | — |
| 計 | 40,534 | 7,433 | 47,968 | (577) | 47,390 |
| 営業利益 | 1,572 | 1,152 | 2,724 | (61) | 2,663 |

(注) 1 事業の区分は、販売市場別区分によっております。

2 各事業の主な製品

- (1)自動車・産業機械部品事業……………ピストンリング、カムシャフト、バルブリフター、バルブシート、シールリング、素形材部品等
- (2)その他事業……………鋼管用継手、ステンレス管用継手、電熱材、工業炉、電波暗室、電波吸収体等

3 会計処理の変更

第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を適用しております。これに伴い、従来の方法によった場合に比べ、「自動車・産業機械部品事業」については営業利益が161百万円減少し、「その他事業」については営業利益が54百万円減少しております。

4 追加情報

第1四半期連結会計期間から、有形固定資産（機械装置）の耐用年数を変更しております。この変更により、従来の方法によった場合に比べ、「自動車・産業機械部品事業」については営業利益が164百万円減少し、「その他事業」については営業利益が11百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

| | 自動車・産業 機械部品事業 (百万円) | その他事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|--------------------------|---------------------------|----------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 24,853 | 4,835 | 29,689 | — | 29,689 |
| (2)セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 0 | 1,031 | 1,031 | (1,031) | — |
| 計 | 24,853 | 5,867 | 30,720 | (1,031) | 29,689 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △717 | 440 | △277 | 137 | △139 |

(注) 1 事業の区分は、販売市場別区分によっております。

2 各事業の主な製品

- (1)自動車・産業機械部品事業……………ピストンリング、カムシャフト、バルブリフター、バルブシート、シールリング、素形材部品等
- (2)その他事業……………鋼管用継手、ステンレス管用継手、電熱材、工業炉、電波暗室、電波吸収体等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

| | 日本 (百万円) | その他の地域 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|--------------------------|-------------|-----------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 37,036 | 10,354 | 47,390 | — | 47,390 |
| (2)セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 3,946 | 844 | 4,790 | (4,790) | — |
| 計 | 40,982 | 11,198 | 52,181 | (4,790) | 47,390 |
| 営業利益 | 1,588 | 1,091 | 2,679 | (16) | 2,663 |

(注) 1 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

その他の地域：アメリカ、ドイツ、スペイン、インドネシア、中国、シンガポール

3 会計処理の変更

第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を適用しております。これに伴い、従来の方法によった場合に比べ、「日本」については営業利益が215百万円減少しております。

4 追加情報

第1四半期連結会計期間から、有形固定資産（機械装置）の耐用年数を変更しております。この変更により、従来の方法によった場合に比べ、「日本」については営業利益が176百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

| | 日本 (百万円) | その他の地域 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|--------------------------|-------------|-----------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 24,096 | 5,592 | 29,689 | — | 29,689 |
| (2)セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 1,595 | 530 | 2,125 | (2,125) | — |
| 計 | 25,692 | 6,122 | 31,814 | (2,125) | 29,689 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △872 | 565 | △307 | 167 | △139 |

(注) 1 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

その他の地域：アメリカ、ドイツ、スペイン、インドネシア、中国、シンガポール

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

| | アジア | その他の地域 | 計 |
|--------------------------|-------|--------|--------|
| I 海外売上高（百万円） | 7,485 | 7,786 | 15,271 |
| II 連結売上高（百万円） | — | — | 47,390 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 15.8 | 16.4 | 32.2 |

(注) 1 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

アジア : インドネシア、大韓民国、タイ、中国、台湾他

その他の地域 : アメリカ、ドイツ、スペイン他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

| | アジア | その他の地域 | 計 |
|--------------------------|-------|--------|--------|
| I 海外売上高（百万円） | 4,923 | 3,584 | 8,507 |
| II 連結売上高（百万円） | — | — | 29,689 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 16.6 | 12.1 | 28.7 |

(注) 1 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

アジア : インドネシア、大韓民国、タイ、中国、台湾他

その他の地域 : アメリカ、ドイツ、スペイン他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。